解　説

第 ８ 章　　　エネルギー・上下水道

電力

電力需要量(低圧、一般家庭向け)は減少、発電電力量は増加

電力調査統計によると、令和5年度の電力需要量(低圧、一般家庭向け)は2,010万MWhで、前年度に比べ0.9%減少しました。月別では1月がピークで、年間月平均の約1.3倍です。



[第8章1表より]

電力需要量(大阪府内)

また、発電電力量(全国)は、令和4年度は「石油等」、「新エネ」以外の発電量が減少し、全体でも前年度に比べ2.2%減少となっています。



発電電力量(一般電気事業用・全国)

［経済産業省　資源エネルギー庁「エネルギー白書2024」より］

再生可能エネルギー等

太陽光発電は10年間で約2.7倍に

　　大阪府環境農林水産部によると、令和5年度末現在の再生可能エネルギー(太陽光発電、廃棄物発電等)や燃料電池等(コージェネレーション等)の導入状況は、太陽光発電が124万2千kW（住宅用59万9千kW、非住宅用64万3千kW）、廃棄物発電等が27万7千kW(うち一般廃棄物によるもの27施設、24万5千kW)、燃料電池等が54万6千kW(家庭用5万9千kW、事業用48万7千kW)です。

太陽光発電は、10年前(平成25年度)の約2.7倍です。

[第8章2表より]

太陽光発電導入量(累計)

上下水道

有収水量は逓減、下水道普及率・水洗化率は逓増

　大阪府健康医療部によると、令和5年度の有収水量(料金徴収の対象となった水量)は9億8,308万9千㎥で、前年度に比べ473万3千㎥(0.5%)減少と、僅かながら減少が続いています。

※　大阪府工業指数は、平成31年１月速報（3月公表）から基準年次を平成22年から平成27年に改定しました。(５年ごとに改定)

大阪府都市整備部によると、令和5年度の下水道整備状況は、普及率は97.1％、水洗化率は97.6%で、前年度に比べ普及率は0.1ポイント上昇、水洗化率は0.1ポイント上昇と、いずれも僅かながら上昇が続いています。



下水道整備状況

※事業用有収水量、生活用有収水量は、当該用途での

契約をしているものの合計値

年間有収水量

[第8章7、8表より]